

IX. 調査間の比較結果

1. 各設問の結果

① 人生 100 年時代に向けた考えや取組について

【一般高齢者調査：問 8、要介護等認定者調査：問 19】

人生 100 年時代を迎えるにあたって、今後、市が重点的に取り組んだ方がよいと考えるものはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

要介護等認定者調査では、一般高齢者調査と比べて、「家族介護者への支援」「在宅医療の充実」の割合が高くなっている。

図表 480 【人生 100 年時代を迎えるにあたって、今後、市が重点的に取り組むべきこと】

(%)

	一般高齢者調査	要介護等認定者調査
調査数	991	913
身体介護や生活援助などの介護サービスの充実	43.0	45.7
特別養護老人ホームなど介護保険施設の整備	43.0	41.6
介護予防の充実	42.9	40.0
在宅医療の充実	42.6	49.0
移動手段の確保などの外出支援	38.6	40.6
家族介護者への支援	37.0	57.6
介護サービス以外の生活支援サービスの充実	30.4	28.6
フレイル予防の充実	27.0	14.9
健康意識の向上	26.8	24.8
孤立・孤独防止対策	23.0	29.5
見守り活動の推進	20.8	23.0
終活支援	19.0	24.2
認知症への理解促進	17.3	26.6
交流の場づくり	17.2	18.5
地域の防犯力・防災力の向上のための支援	14.7	16.4
地域共生社会の実現（多様な参画・つながりによる地域社会づくり）	12.5	14.3
生涯学習の支援	10.5	9.0
地域ネットワークの強化	10.2	12.7
高齢者虐待防止のための取組推進	9.9	15.1
就労機会の確保	9.5	10.0
認知症の方の社会参加の促進	8.7	13.6
成年後見制度の周知・促進	4.9	11.9
資産を守る支援体制の充実	4.8	12.2
その他	1.3	2.7
無回答	6.1	13.5

※一般高齢者調査の結果で並び替えている。

IX 調査間の比較結果

② 生活支援について

【一般高齢者調査：問 33】

あなたが普段の生活の中で、手助けしてほしいことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

【要介護等認定者調査：問 12】

宛名の御本人様が普段の生活の中で、手助けしてほしいこと又は手助けを受けていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

要介護等認定者調査では、一般高齢者調査と比べて、「手助けしてほしいこと、手助けを受けていること」の割合が高くなっている。

図表 481 【普段の生活の中で、手助けしてほしいこと】

(%)

	一般高齢者調査	要介護等認定者調査
調査数	991	913
庭の草刈り・剪定など	11.6	30.8
家電製品やパソコン等の操作	6.8	20.5
簡単な力仕事	5.7	27.6
市役所などでの手続き	5.0	44.7
病院への送迎	4.7	48.3
買い物	4.4	44.0
洗濯や部屋の掃除	3.6	40.2
日ごろの話し相手	3.3	27.8
玄関前や庭などの家周りの掃除	3.2	28.0
ごみ出し	3.1	40.4
調理	2.9	34.9
病院以外の外出時の送迎	2.1	32.1
声かけ・見守り	2.1	26.5
病院への付き添いや薬の受け取り	1.9	46.5
ご飯を食べる相手	1.0	17.7
病院以外の外出時の付き添い	0.9	32.6
金銭管理・書類の確認	0.4	33.3
その他	0.3	7.6
特にない	58.9	16.0
無回答	9.4	7.9
『手助けしてほしいことがある』(計)	31.7	76.1

※一般高齢者調査の結果で並び替えている。

③ 介護について

【一般高齢者調査：問 41】

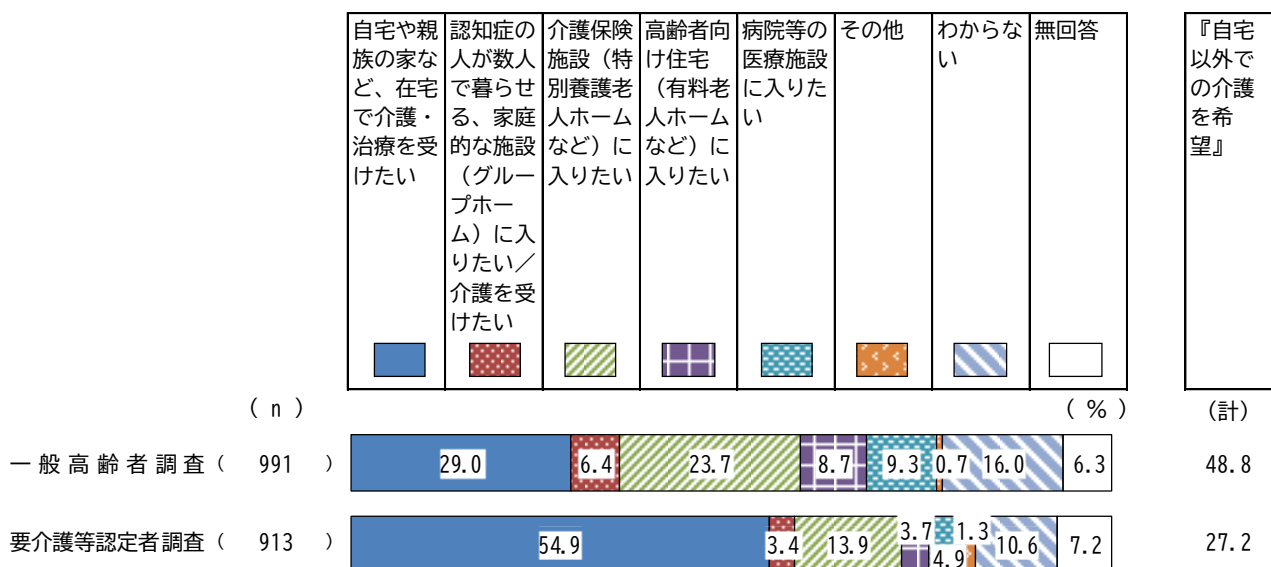
あなたは将来、介護や長期の治療・療養が必要になった場合、どこで介護や療養を希望しますか。(ひとつだけ○)

【要介護等認定者調査：問 15】

宛名の御本人様は今後、どこで介護や療養を希望しますか。(ひとつだけ○)

要介護等認定者調査では、一般高齢者調査と比べて、「自宅や親族の家など、在宅で介護・治療を受けたい」の割合が高くなっている。

図表 482 【介護が必要になったときに、介護を受けたい場所】



IX 調査間の比較結果

【一般高齢者調査：問 41-2】

自宅以外での介護に○をつけた方にかがいます。その場所を選んだ理由について、お答えください。(あてはまるものすべてに○)

【要介護等認定者調査：問 15-1】

在宅以外での介護に○をつけた方にかがいます。その場所を選んだのは、なぜですか。(あてはまるものすべてに○)

一般高齢者調査、要介護等認定者調査で、同様の傾向を示しており「親族の負担（身体的・精神的）がかからないようにするため」が最も高くなっている。要介護等認定者調査では、「自分の希望する介護を受けることができると思うから」の割合が、一般高齢者調査と比べてやや高い。

図表 483 【自宅以外での介護を選んだ理由】

(%)

	一般高齢者調査	要介護等認定者調査
調査数	483	249
親族の負担（身体的・精神的）がかからないようにするため	74.7	59.8
緊急時や救急時の対応ができるから	41.2	37.3
介護や療養を受ける環境が整っているから／介護を受ける環境が整っているから	40.0	37.8
親族等の世話になることに気が引けるから	32.7	19.7
経済的な理由から	21.3	18.9
自分の希望する介護を受けることができると思うから	21.1	25.7
在宅で介護してくれる親族等がないから	18.8	16.1
在宅に近い環境が好ましいから	11.0	15.7
訪問してくれる医療従事者がいるから	9.5	16.5
その他	1.9	5.6
無回答	4.6	5.2

※一般高齢者調査の結果で並び替えている。

【一般高齢者調査：問 44】

介護や療養が必要になっても在宅で暮らし続けるために必要なことは、どのようなことであると思いますか。(主なもの3つに○)

【要介護等認定者調査：問 16】

在宅で暮らし続けるために必要なことは、どのようなことであると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

要介護等認定者調査では、一般高齢者調査と比べ、全体的に割合が高くなっている。特に、「介護をする家族や親族への支援がある」「日中に訪問介護や通所サービスなど、普段から利用できる介護サービスがある」「身近に利用できる医療機関がある」など、介護サービスや医療サービスの充実に関する割合が高い。

図表 484 【在宅生活で暮らし続けるために必要な条件】

(%)

	一般高齢者調査	要介護等認定者調査
調査数	991	913
住み続けられる住まいがある	49.7	73.3
家族が同居または近くにいる	37.6	68.1
自宅に医師や看護師等が訪問して診療やケアをしてくれる	16.9	40.4
介護をする家族や親族への支援がある	16.5	51.9
日中に訪問介護や通所サービスなど、普段から利用できる介護サービスがある	16.1	55.3
必要に応じて、通ったり、宿泊することができるような介護サービスがある	14.7	41.2
緊急時や救急時に入院先が確保されている	12.8	33.2
夜間にも訪問介護や訪問看護など、訪問してくれる介護サービスがある	10.7	33.0
経済的な支援がある	9.8	29.8
入浴のみ、食事のみ、リハビリのみなど、短時間の通所サービスが受けられる	8.5	36.6
介護者の入院など緊急時に入所可能な短期入所サービスが利用できる	6.9	36.8
いつでも利用(入所)できる施設が近くにある	6.8	29.8
見守ってくれる友人・知人が近くにいる	6.5	20.4
身近に利用できる医療機関がある	6.4	40.6
その他	1.0	2.3
わからない	6.2	1.8
無回答	11.9	6.9

※一般高齢者調査の結果で並び替えている。

IX 調査間の比較結果

【要介護等認定者調査：問 24】

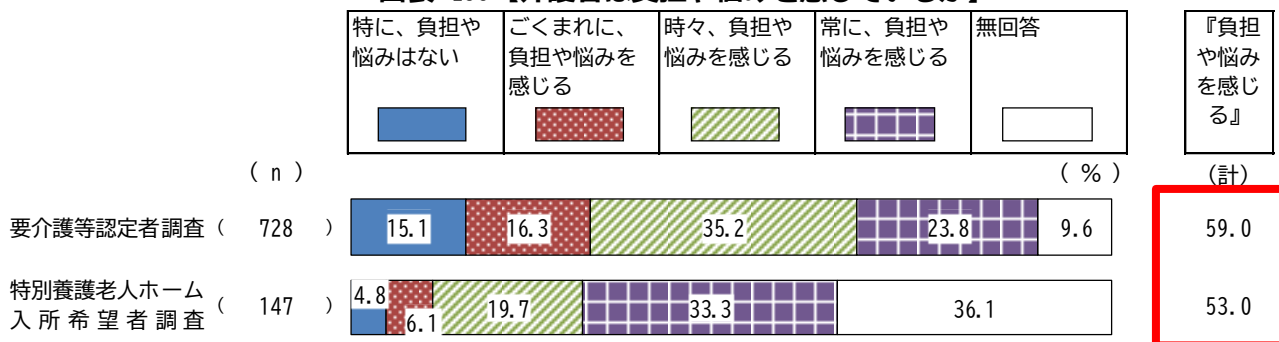
御家族など中心となって介護をしている方がお答えください。中心となって介護をしている方は、介護の負担や悩みを感じることはありませんか。(ひとつだけ○)

【特別養護老人ホーム入所希望者調査：問 27】

中心となって介護をしている方は、介護の負担や悩みを感じることはありませんか。(ひとつだけ○)

要介護等認定者調査、特別養護老人ホーム入所希望者調査結果から、中心介護者の2人に1人は負担や悩みを感じている。

図表 485 【介護者は負担や悩みを感じているか】



【一般高齢者調査：問 45】

在宅で介護をする家族には、どのような理解や支援が必要だと思いますか。これまで介護の経験がない方は、想像で構いません。(あてはまるものすべてに○)

【要介護等認定者調査：問 24-2、特別養護老人ホーム入所希望者調査：問 27-1】

負担や悩みを感じるに○をつけた方にうかがいます。負担や悩みを和らげるにはどのような理解や支援が必要ですか。(あてはまるものすべてに○)

特別養護老人ホーム入所希望者調査では、一般高齢者調査 および要介護等認定者調査と比べて、「経済的負担軽減への支援」の割合が高くなっている。

図表 486 【介護者の負担や悩みを和らげるために必要な理解や支援】

(%)

	一般高齢者調査	要介護等認定者調査	特別養護老人ホーム入所希望者調査
調査数	991	548	87
介護サービス（ショートステイ等）利用による、身体的負担軽減への支援	55.2	41.2	59.8
経済的負担軽減への支援	50.2	34.5	66.7
介護と医療の円滑な連携	48.6	29.0	33.3
介護者の休息や介護から一時的に離れることへの理解	43.4	39.6	
介護方法の情報提供	38.8	19.2	23.0
個別の悩みごとを相談できる場所など、精神的負担軽減への支援	31.7	22.8	34.5
介護に対する他の家族や親族の理解	28.9	24.8	
介護に対する職場の理解	16.0	10.6	14.9
介護に対する地域の理解	12.4	7.1	6.9
介護者がリフレッシュできる教室やイベントの開催			8.0
介護者の状況や心情的理解			34.5
その他	1.1	4.2	6.9
無回答	10.8	15.5	3.4

※一般高齢者調査の結果で並び替えている。

※一般高齢者調査、要介護等認定者調査では、「介護者がリフレッシュできる教室やイベントの開催」「介護者の状況や心情的理解」はない。

※特別養護老人ホーム入所希望者調査では、「介護者の休息や介護から一時的に離れることへの理解」「介護に対する他の家族や親族の理解」はない。

IX 調査間の比較結果

【要介護等認定者調査：問 26】

中心となって介護をしている方が充実を望むことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

【特別養護老人ホーム入所希望者調査：問 28】

中心となって介護をしている方が、介護者支援として充実を望むことは何ですか。(主なもの3つまで○)

特別養護老人ホーム入所希望者調査では、要介護等認定者調査と比べて、「特別養護老人ホームなどの施設整備」の割合が高くなっている。

図表 487 【中心介護者が充実を望むこと】

(%)

	要介護等認定者調査	特別養護老人ホーム入所希望者調査
調査数	913	147
ヘルパーの訪問や通いサービスなどの介護保険サービスの充実	38.0	23.1
特別養護老人ホームなどの施設整備	28.3	37.4
軽作業の代行など介護保険以外のサービスの充実	15.9	4.8
公的な機関などの個人的な相談機会／公的な相談機関の充実	13.3	10.2
有料老人ホームや高齢者向け住宅の整備	10.3	4.1
介護者教室などの介護技術が学べる機会	7.8	3.4
介護者の会などの介護者同士の交流の場	7.4	2.7
隣近所の助け合いやボランティア活動への支援	4.6	1.4
在宅要介護高齢者福祉金（家族介護慰労金）の支給		24.5
経済的負担軽減への支援		37.4
その他	4.2	0.0
特になし	10.3	
無回答	26.6	40.1

※要介護等認定者調査の結果で並び替えている。

※要介護等認定者調査では、「在宅要介護高齢者福祉金（家族介護慰労金）の支給」「経済的負担軽減への支援」はない。

※特別養護老人ホーム入所希望者調査では、「特になし」はない。

【一般高齢者調査：問 46】

介護保険料についてどのように感じていますか。(ひとつだけ○)

【要介護等認定者調査：問 18】

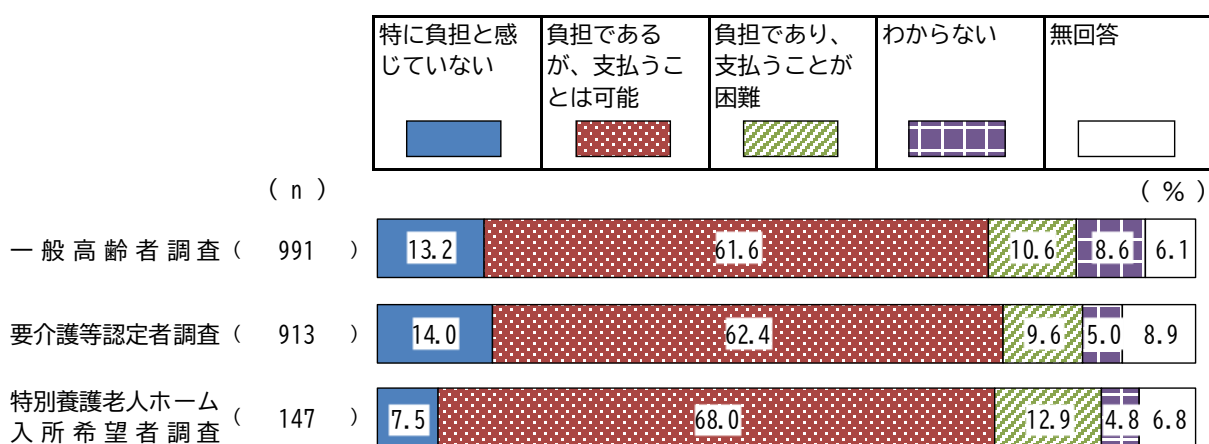
介護保険料についてどのように感じていますか。(ひとつだけ○)

【特別養護老人ホーム入所希望者調査：問 12】

宛名の御本人（特別養護老人ホーム待機者）における、現在の介護保険の年間保険料額について、どのように感じていますか。(ひとつだけ○)

各調査の「特に負担と感じていない」「負担であるが、支払うことは可能」の合計割合に大きな差はない。

図表 488 【介護保険料の負担感】



IX 調査間の比較結果

④ 介護保険制度・高齢者福祉施策について

【一般高齢者調査：問 47】

あなたは平塚市の介護保険制度・高齢者福祉施策について、どのように感じますか。(もっとも近い考えをひとつだけ○)

【要介護等認定者調査：問 21】

宛名の御本人様は平塚市の介護保険制度・高齢者福祉施策について、どのように感じますか。(もっとも近い考えをひとつだけ○)

要介護等認定者調査では、一般高齢者調査と比べて、「とても充実している」「まあ充実している」の合計割合が高くなっている。

図表 489 【介護保険制度・高齢者福祉施策の充実度】

